

れんけいこうち広域都市圏ビジョンの進捗状況について

令和3年度連携事業の進捗状況

令和3年度は、8月27日～9月12日及び2月12日～3月6日の間、まん延防止等重点措置が適用されるなど、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けたものの、昨年度実施したウィズコロナ・アフターコロナを踏まえた事業の見直し内容をもとに、手法のオンライン化をはじめとした対策を講じて事業を実施した。コロナ禍で停滞した経済の回復に向けては、地場産品販路拡大推進事業における「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」の取組をさらに拡大し実施しているほか、地方移住への関心の高まりを踏まえ、二段階移住推進事業では新たなPR動画を制作するなど、積極的に取組を展開した。

① 圏域全体の経済成長のけん引

地場産品の販路拡大（地場産品販路拡大推進事業）

● 県外見本市への共同出展

- 第31回グルメ&ダイニングスタイルショー春2022
第31回グルメ&ダイニングスタイルショー春2022（2/8～10@東京ビッグサイト）へ共同出展し、圏域事業者の販路拡大を支援

【出展3か月後調査による実績】

参加事業者：11市町村26事業者
商談成立件数：53件
総成約金額：6,302千円
受賞商品：酔鯨酒造株式会社の「酔鯨 手造り吟醸麹あま酒」がビバレッジ部門で大賞、株式会社G&Fの「土佐クラフトソーダ 幻の柑橘 直七スパークリング」が同部門で準大賞を受賞



▲酔鯨手造り吟醸麹あま酒（左）
直七スパークリング（右）

- ビジネスフェア中四国2022
ビジネスフェア中四国2022（2/2～3@広島県立総合体育館）へ共同出展し、圏域事業者の販路拡大を支援

申込事業者：7市町村12事業者（当日参加：5事業者）

● 「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」の取組

- TSUNAGUマーケット
新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた圏域事業者の販路拡大・売上確保を支援

【in 日曜市】

開催日：R3.5月～R4.3月までの隔週で開催（全21回開催）
参加市町村：6市町（高知市、安芸市、南国市、四万十町、仁淀川町、香美市）
売上累計：2,892千円

【in イオンモール高知】

開催日：①6/19～20
②8/14～15
参加事業者：①16市町村28事業者
②6市町17事業者
売上累計：①1,370千円
②787千円



▲イオンモール開催時の様子

地場産品の販路拡大（地場産品販路拡大推進事業）【続き】

● 「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」の取組【続き】

- テイクアウトフェスタ
圏域内の農産物生産者・加工品製造事業者の出店による、加工品やテイクアウト商品を中心としたマーケット「昼も夜もテイクアウトフェスタ」（1/22～23@高知市中央公園）を開催
参加事業者：55事業者
来場者数：9,805人
売上累計：9,034千円



▲県内で活躍するアーティストのライブイベントもあり、イベントは大盛況

● バイヤー招聘型商談会

- れんけいこうち展示商談会（7/12）
【開催3か月後調査による実績】
参加事業者：10市町村28事業者
商談成立件数：10件
総成約金額：2,826千円
- 東急ハンズ商談会（1/24～25）
参加事業者：7市町26事業者

事業者の販売支援（圏域事業者販売等支援事業）

● アグリコレットでの販売支援

とさのさと アグリコレット内の「れんけいブース」を活用した、地場産品の展示・販売及び圏域事業者への販売支援等を実施

＜れんけいブースでの販売支援＞

月	売上金額	売上点数
4月	3,690千円	6,705
5月	3,675千円	6,811
6月	2,818千円	5,311
7月	4,391千円	8,100
8月	5,357千円	9,643
9月	4,379千円	7,703
10月	4,844千円	8,730
11月	6,232千円	11,317
12月	8,276千円	13,901
1月	5,559千円	9,686
2月	4,788千円	8,730
3月	5,931千円	10,259
計	59,940千円	106,896

＜マーケティング支援＞

サポート内容	支援件数
表示・パッケージ	13
店頭販売	11
試食販売	2
販売方法	15
量目・価格変更	4
納品方法（流通）	1
コロナ対策	6
限定販売	4
新商品	17
計	73

● TSUNAGUマーケット in アグリコレット

「れんけいブース」での販売を想定した商品を対象に、「TSUNAGUマーケット」（10/30～31）を開催し、れんけいブースの認知度向上、事業者の販路確保・拡大を図る

参加事業者：6市町17事業者
売上累計：1,291千円



▲新聞折込でイベントを告知

れんけいこうち広域都市圏ビジョンの進捗状況について

① 圏域全体の経済成長のけん引【続き】

観光振興（インバウンド観光推進事業）

●こうち観光ナビ・ツーリストセンター（高知市帯屋町）の運営

- 観光案内所ホームページの制作
観光案内所PRのためのホームページを制作し、言語等の充実を段階的に図る
- 利用実績
実相談件数：4,884件（うち外国人240件）



▲HPでは圏域内の観光情報のほか、FreeWi-Fi等のお役立ち情報も発信

●デジタルコンテンツ（動画）を活用した観光PR

仁淀川地域（土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村）にて、地域の魅力をPRする動画を制作。制作した動画を、YouTube、Instagram、GoogleディスプレイのWEB広告のほか、県内主要箇所（JR高知駅、高知龍馬空港 等）にて放映

●「樂吃購（ラーチーゴー）！日本オンラインライブイベント」の開催

「樂吃購！日本」を運営するジューメディアグループの創設者、吉田 皓一氏をMCに招き、台湾の一般消費者に対して、圏域市町村の観光コンテンツ（グルメ・自然・体験）の魅力を発信するオンラインライブイベントを開催（2/12）

閲覧者数：332,677人（告知・アーカイブ動画等を含む）



▲台湾をメインターゲットとした樂吃購で高知の魅力を発信

二段階移住の推進（二段階移住推進事業）

●二段階移住制度のPR

- 情報発信によるPR
実績：22市町村＋県によるInstagram投稿、投稿数627件、フォロワー数939人

○ 新たなPR動画の制作

移住を恋愛に見立てた新PR動画「一段階告白／二段階告白」を制作
視聴回数：48,948回



▲新PR動画「一段階告白／二段階告白」

○ 県内移住体験ツアーの開催

一段階目で高知市へ移住し、二段階目の移住に至っていない移住者を対象に移住体験ツアーを開催（10/16～17、室戸市）

●幡多オンライン移住体験ツアー・相談会「ハタカラ」の開催

幡多地域6市町村による、二段階移住制度及び各市町村のPRのほか、移住相談を行う「ハタカラ」をオンライン開催（3/5）

市町村PRパート：30人参加 相談パート：13人参加



▲あつかんDRAGON おだち氏（左）、藤崎元テレビ高知アナウンサー（右）をMCに招き市町村の魅力をPR

●二段階移住実績

新規相談件数：93件、パスポート発行（補助金＋いっく利用）件数：58件
（5組が二段階移住（移住先：南国市、香美市、いの町、仁淀川町、北川村））

② 高次の都市機能の集積・強化

高次の理科学習・体験機会の提供 （高知みらい科学館機能の強化）

●科学館理科学習の実施

圏域内の市町村教育委員会が所管する学校等の小4・中1を対象に、高知みらい科学館において、観察や実験、プラネタリウムを活用した理科学習を実施
参加実績：69校4,079人

●出前教室の実施

市町村の希望に応じ、出前でミニプラネタリウムやサイエンスショー等を実施
参加実績：7校282人



●科学体験展示の実施

展示物を市町村立図書館等に展示し、住民に科学体験機会を提供
展示物：19種類@23施設

③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

おんぱく手法を活用した体験型イベントの実施 （体験型地域資源開発・活用事業）

●体験型地域資源開発・活用事業の実施

○ 体験型イベントの実施

津野町：「つのつねづね＃2」8/1～9/26
佐川町：「わんさかわっしょい体験博2021」9/4～10/10
仁淀ブルー（※）：「仁淀ブルー体験博2021」10/22～11/30
香美市：「かみめぐり 香美を巡る体験博2022」2/2～3/6

全70プログラム実施、737人参加

※仁淀川地域6市町村（土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村）による合同実施

○ 高知市広報紙「あかるいまち」への掲載

イベント実施にあたっては、高知市広報紙に掲載し、交流人口の拡大を図る

9月号：津野町、佐川町、仁淀ブルー
1月号：香美市

イベント実施地域外からの参加割合：70.4%



▲津野町制作のパンフレット

合同就農相談会の開催（新規就農者の確保）

●合同就農相談会の開催

とさのさとアグリコレット内で、一部市町村はオンライン参加としてコロナ対策を講じて開催（11/20）

参加市町村：15市町（うち、オンライン4市町）
資料展示：21市町村
来場者数：103人
相談者数：24人（うち、オンライン1人）

地域防災力の強化（防災リーダー育成事業）

●防災人づくり塾の開催

風水害や地震等をテーマにした防災の基礎的内容を講義する防災人づくり塾を開催（7/12～10/17の間、計8回）

会場：高知市（本会場）
宿毛市、越知町、四万十町（サテライト会場）

修了者数：本会場119人、サテライト会場13人


※職員の学習用として講義動画をYouTubeで配信
閲覧者数：119人

① デジタル化の進展等の社会経済情勢の変化を踏まえた取組

EBPMの推進（統計データ活用事業）

●研修会のテーマ拡大（プレ実施）


根拠に基づく政策立案（EBPM）推進のため、これまで各種データツール（RESAS、e-stat等）の活用方法のほか、アンケートの設計・分析方法の研修等を実施。**第2期れんけいこうち広域都市圏ビジョンでは、新たにデジタル化推進等の社会経済情勢の最新の動きもテーマに加え研修を実施する方向性としており、これを踏まえ、SDGsに関する知識習得の研修を開催**



伝統産業の推進（伝統産業推進事業）

●ECサイト（高知ものづくり紀行）を活用した販路拡大支援

株式会社Creemaとのタイアップ事業として、インターネットを含めた新たな販路開拓を目指す圏域の伝統的産品の事業者を対象に、インターネット販売手法等に関する集合研修や個別アドバイスを実施のうえ、ECサイト「Creema」での販売を開始するほか、大型クラフトイベントでのテストマーケティング等を実施予定




▲イメージ（左：ECサイト販売ページ、右：テストマーケティング）

② 新たなフェーズに移行する取組

事業者の販売支援（圏域事業者販売等支援事業）

●新たな「れんけいブース」の設置

とさのさと アグリコレットに代わる場として、**高知大丸東館5階のローカリティフロア**に、新たな地場産品の展示・販売の場となる「れんけいブース」のほか、事業者が新たにチャレンジできる場の提供や、圏域市町村によるPRイベントの開催等、高知市中心市街地での事業者の販売支援を実施




▲アグリコレット内での販売はR4年度末をもって契約満了となるが、希望する事業者は引き続き商品販売が可能

観光振興（広域観光推進事業）

●旅行商品のプロモーション強化

R2年度までに造成した各エリアを周遊する12本の旅行商品をベースとして、コースに含まれる観光スポットに新たな観光素材を加え、**市町村の魅力的なスポット等を紹介する動画を制作し、市町村公式ホームページやYouTube、SNS等で配信し、観光PRの素材として活用する。**



地場産品の販路拡大（地場産品販路拡大推進事業）

●関西圏における物販イベント（プレ実施）

2025年に開催が予定されている日本国際博覧会（大阪・関西万博）を見据え、市場調査も兼ねて、**関西圏での地場産品の物販イベント**を実施

伝統産業の推進（伝統産業推進事業）

●県内外での展示販売

R2年度に実施した株式会社小学館とのタイアップ通販冊子「メイド・イン高知の逸品35」に同梱したアンケート及び購入者属性の分析結果を踏まえ、県内での展示・販売会の開催や県外見本市等への出店等、事業者の販路拡大につながる取組を検討

③ 内容を拡充する取組

観光振興（インバウンド観光推進事業）

●各地域の観光情報発信

幅広く圏域内の魅力的な観光情報を発信するため、高知市常屋町内の観光案内所「こうち観光ナビ・ツーリストセンター」職員による「エリアにスポットを当てた取材」「グルメ、体験、風景等テーマに沿った取材」「生活者目線での観光魅力発見を目的とした取材」に基づく動画を制作し、案内所のデジタルサイネージやYouTubeで配信する取組について、取材先を増加させるなど取組内容を拡充

二段階移住の推進（二段階移住推進事業）

●「オリジナルWEB漫画」を活用したPR

SNSで人気の東京都在住の漫画家・イラストレーター「ミツコ」氏に3泊4日の高知移住（プチ旅行）をしていただき、圏域市町村で体験した様々な食文化や地域の知られざる魅力、地域住民と触れ合うなかで感じたことなどのエピソードを「**オリジナルWEB漫画**」として**作成・配信**することで、高知の魅力と二段階移住制度をPR

おんぱく手法を活用した体験型イベントの実施（体験型地域資源開発・活用事業）

●実施市町村の拡大

令和3年度実施市町村の継続実施のほか、室戸市が新たに取り組む予定

※ いずれも実施に向けて検討・調整中であり、取組内容に変更がある可能性があります。

1 分野K P I の達成状況

分野	指標	基準値 2016（H28）	目標値 2022（R4）	実績値			
				2018（H30）	2019（R元）	2020（R2）	2021（R3）
(1) 圏域全体の経済成長のけん引	製造品出荷額等	5,678億円	6,400億円以上	5,945億円 (92.9%)	5,855億円 (91.5%)	－	－
	県外観光客入込数	424万人	454万人以上	441万人 (97.1%)	438万人 (96.5%)	266万人 (58.6%)	267万人 (58.8%)
	観光総消費額	1,101億円	1,246億円以上	1,104億円 (88.6%)	1,096億円 (88.0%)	648億円 (52.0%)	699億円 (56.1%)
	県外からの移住組数	683組	1,225組以上	934組 (76.2%)	1,030組 (84.1%)	963組 (78.6%)	1,167組 (95.3%)
(2) 高次の都市機能の 集積・強化	高知赤十字病院のドクターヘリ搬入患者数（受入のみ）	20人	150人	－	69人 (46.0%)	79人 (52.7%)	43人 (28.7%)
	高知みらい科学館利用者数	－	200,000人	－	214,591人 (107.3%)	114,412人 (57.2%)	116,418人 (58.2%)
(3) 圏域全体の生活関連 機能サービスの向上	新規就農者数	276人	320人以上	271人 (84.7%)	261人 (81.6%)	217人 (67.8%)	213人 (66.6%)
	自主防災組織の組織率	93.3%	100%	96.3%	96.5%	96.8%	97.1%
	ファミリー・サポート・センター提供会員数	486人	920人以上	－	－	797人 (86.6%)	906人 (98.5%)

※ 各年度実績値のパーセンテージは、目標値（R4）に対する達成率

れんけいこうち広域都市圏 KPIの達成状況について

2 事業KPIの達成状況

分野	事業名称	指標	目標値	実績値		参考事項
			R4	R3	達成率	
(1) 圏域全体の経済成長のけん引	No.01 れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進事業	懇談会の開催回数	3回／年	2	66.7%	
		推進会議の開催回数	1回／年	1	100.0%	
		ウェブサイトの閲覧件数	4,800ビュー／年	3,473	72.4%	
	No.02 統計データ活用事業	研修会への参加者数	累計340人	429	126.2%	R3年度末上方修正（累計340人→514人）
		応用学習会への参加市町村数	22市町村／年	20	90.9%	
	No.03 日曜市出店事業	「れんけい小間」延べ開設数	300回／年	130	43.3%	
		「れんけい小間」への来客数	24,000人／年	3,590	15.0%	
	No.04 地場産品販路拡大推進事業	見本市等における商談成立件数	75件／年	63	84.0%	出店後調査未実施分あり
		見本市等における参加事業者数	30事業者／年	87	290.0%	
	No.05 圏域事業者販売等支援事業	「れんけいブース」における年間販売額	3,200万円／年	5,994	187.3%	
		「れんけいブース」における事業者支援件数	36件／年	73	202.8%	
	No.06 伝統産業推進事業	パンフレット配布部数	5,200部／年	3,710	71.3%	
		ウェブサイト閲覧数	63,000ビュー／年	109,054	173.1%	R3年度末上方修正（63,000ビュー／年→101,000ビュー）
	No.07 6次産業化推進事業	マッチングセミナーへの参加事業者数	50事業者／年	40	80.0%	
	No.08 大型船舶寄港誘致・誘客促進事業	高知新港への大型客船寄港回数	100回／年	6	6.0%	
		無料バス運行地域数	6地域／年	0	0.0%	
		無料バス乗客数	180人／年	0	0.0%	
	No.09 広域観光推進事業	新規周遊観光商品数	3本／年	0	0.0%	計画期間中の累計造成数（12本）は達成済
		旅行会社発行の紙・WEB媒体への造成商品掲載数	30商品／年	40	133.3%	
	No.10 インバウンド観光推進事業	観光案内所の外国人利用者数	3,370人／年	240	7.1%	日本人含む合計利用者数は4,884人
	No.11 人工知能（A I）を活用した外国人観光客への対応	外国人観光客のシステム利用者数	3,662人／年	136	3.7%	日本人含む合計利用者数は5,200人
	No.12 空き店舗等情報発信事業	ホームページの閲覧数	42,000ビュー／年	57,392	136.6%	
	No.13 二段階移住推進事業	二段階移住新規相談件数	累計490件	375	76.5%	
		二段階移住パスポート発行部数	累計185部	155	83.8%	
		二段階移住組数	累計60組	22	36.7%	

れんけいこうち広域都市圏 KPIの達成状況について

分野	事業名称	指標	目標値	実績値		参考事項
			R4	R3	達成率	
(2) 高次の都市機能の 集積・強化	No.14 新高知赤十字病院への支援	高知赤十字病院から圏域内への助産師派遣回数	36回／年	7	19.4%	
	No.15 高知みらい科学館機能の強化	理科学習の実施校数	100校／年	69	69.0%	
		理科学習の受講児童生徒数	5,700人／年	4,079	71.6%	
		出前教室の実施校数	40校／年	7	17.5%	
		出前教室の受講児童生徒数	800人／年	282	35.3%	
		科学体験展示実施延べ市町村数	16市町村／年	23	143.8%	
(3) 圏域全体の生活関連 機能サービスの向上	No.16 子育て支援事業（ファミリー・サポート・センターの広域連携）	ファミサポ設置に向けた検討等について高知市が関わった（相談等含む）市町村数	累計12市町村	9	75.0%	
		講習会への広域受講市町村数	累計12市町村	4	33.3%	
		広域利用に向けた検討等について高知市が関わった（相談等含む）市町村数	累計12市町村	1	8.3%	
		情報交換・情報共有した市町村数	累計33市町村	33	100.0%	
	No.17 新規就農者の確保	相談会での個別相談件数	累計150件	42	28.0%	
	No.18 体験型地域資源開発・活用事業	実施プログラム数	累計300件	120	40.0%	
		イベント実施エリア外からの参加割合	70％／年	70.4	100.6%	
	No.19 防災リーダー育成事業	防災人づくり塾修了者数	累計1,050人	647	61.6%	
	No.20 水道事業広域実施（人材育成等）	高知市職員研修への参加者数	累計127人	125	98.4%	R3年度末上方修正（累計127人→151人）
	No.21 職員交流による連携強化と能力向上	高知市への派遣職員数	6人／年	1	16.7%	
		高知市職員研修への参加者数	50人／年	129	258.0%	
		防災士資格取得者数	10人／年	34	340.0%	R3年度末上方修正（10人／年→16人）

令和3年度連携事業取組一覧

令和4年3月31日現在

区分	No.	連携事業名	事業概要	令和3年度取組内容	令和3年度取組詳細
ア 圏域 全体 の 経 済 成 長 の けん 引	21-01	れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会及びれんけいこうち広域都市圏推進会議の開催・運営	ビジョンの進捗管理や広域的な課題の共有、解決に向けた協議を行うとともに、取組成果の検証やビジョンの見直し作業を適宜実施するため、各種会議を開催・運営する。 また、連携事業の実施運営の効率化を図るため、ウェブサイトを活用して圏域市町村の事業担当者間の情報共有効率化やアドレス帳などの管理運営を行う。	各種会議の開催	■れんけいこうち広域都市圏推進会議（7/27） ■第1回れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会（8/3） ■第2回れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会（2/10） ■4月担当者会議（4/19、4/21～23、4/26～27） ・昨年度取組実績の共有、当年度取組予定の共有 等 ■10月担当者会議（10/14、10/18～22、10/25） ・当年度取組状況の共有、来年度取組予定の共有 等 ■第1回れんけいこうち広域都市圏事業調整チーム会議（8/24） ・ビジョン推進懇談会でいただいた意見の共有及び対応方針の検討、第2期ビジョン策定に向けたスケジュールの共有 等 ■第2回れんけいこうち広域都市圏事業調整チーム会議（1/12） ・第2期ビジョン策定に向けた新規事業提案、第1期の総括に関する情報共有 等
				ウェブサイトの運営	■圏域の取組等に関する情報発信 ・圏域市町村イベント等の掲載：23件（令和3年度累計新規掲載数） ・サイト閲覧数：3,473ビュー
				れんけいこうちお悩み掲示板の創設	■れんけいこうちお悩み掲示板の運用に向けた検討（3月） ・圏域市町村間で行政事務等に関するノウハウ共有を円滑に行うための体制（れんけいこうちお悩み掲示板）を構築 ・R4.3月にテスト運用実施、次年度以降本格運用の予定
	21-02	統計データ活用事業	圏域市町村職員を対象とする研修会等を通じて、統計データ活用の重要性に関する理解を深めることで人材育成を図る。	基礎研修会の開催	■RESAS研修（11/29） ・RESAS（地域経済分析システム）の活用方法を習得するオンライン研修を開催 ・実際にRESASを操作するワークショップを導入し、昨年度よりも実践的な内容として開催 ・参加者数：14市町31人 ■アンケート設計・分析研修（3/15～16） ・アンケートの設計及び分析に必要な知識を、統計学的知見を踏まえて習得するオンライン研修を開催 ・参加者数：10市町村18人
				応用学習会の開催	■産業連関表研修（11/16） ・産業連関表の基礎知識及び経済波及効果を計算するための分析ツールの使用方法等を習得する研修を開催（@オーテピア高知図書館） ・参加者数：20市町村49人
				研修のアーカイブ化	■産業連関表研修（1/21） ・11/16開催の産業連関表研修に参加できなかった職員のうち、希望する職員に対してアーカイブ化（動画）による学習機会を提供 ・閲覧者数：12市町村27人（上記研修参加者：20市町村49人の内数）
				その他学習機会の提供	■データサイエンス・オンライン講座（5/26） ・総務省統計局が公開する「統計データの活用」「統計学の基礎」「データの見方」「公的データの使い方とコースのまとめ」の4テーマについて学習可能なオンライン講座情報を共有 ■EBPM活用塾（7/29） ・総務省統計局が公開する「EBPM入門」を始めとした、データ活用の際の根本的な考え方や基礎的な知識等について学習可能なオンライン講座情報を共有
	21-03	日曜市出店事業	日曜市に連携市町村の出店スペース（れんけい小間）を設け、各市町村が輪番制で観光PRなどの情報発信や農産物・加工品等特産品の販売等を行う。 また、出店市町村と連携し、れんけい小間をPRするイベント等を行うことで、圏域事業者の販路拡大、日曜市のにぎわい創出を図る。	れんけい小間の開設	■連携市町村による出店 ・出店市町村数：17市町村 延べ開設数：130小間 ・来客数：3,590人
				れんけい小間の周知・PR	■日曜市れんけい小間スタンプラリー（3/6、3/13、3/20） ・れんけい小間を巡るスタンプラリーを実施し、れんけい小間をPR ・参加者（6小間巡回が条件）には抽選で圏域特産品や日曜市の商品を贈呈

区分	No.	連携事業名	事業概要	令和3年度取組内容	令和3年度取組詳細
ア （続き）	21-04	地場産品販路拡大推進事業	バイヤーの多様なニーズに圏域で連携して対応できるよう販路拡大に関する圏域市町村間のネットワークを構築・強化する。 また、高知市が主催・出展する見本市等に圏域事業者で共同出展することで、スケールメリットによる販路開拓等の機会の創出を図る。	グルメ＆ダイニングスタイルショーへの共同出展	■第31回グルメ＆ダイニングスタイルショー春2022出展（2/8～10@東京ビッグサイト） ・参加事業者：26事業者（11市町村） ・出展3か月後に事業成果調査を実施 →商談成立件数53件、総成約金額6,301,932円 ・ビバレッジ部門で酔鯨酒造株式会社の「酔鯨 手造り吟醸麹あま酒」が大賞、株式会社G＆Fの「土佐クラフトソーダ 幻の柑橘直セスパークリング」が準大賞を受賞
				ビジネスフェア中四国への共同出展	■ビジネスフェア中四国2022出展（2/2～3@広島県立総合体育館） ・申込事業者：12事業者（7市町村）（当日参加数：5事業者） ・出展3か月後事業成果調査を実施予定
				バイヤー招聘型商談会の開催	■れんけいこうち展示商談会（7/12） ・参加バイヤー：SRSホールディングス株式会社、株式会社家族亭、マックスバリュ西日本株式会社（マルナカ）、株式会社サンシャイン、株式会社エースワン、株式会社サニーマート、株式会社島田屋、株式会社土佐山田ショッピングセンター（順不同） ・参加事業者：28事業者（10市町村） ・商談会3か月後に事業成果調査を実施 →商談成立件数10件、総成約金額2,825,871円 ■東急ハンズ商談会（1/24～25） ・参加事業者：26事業者（7市町） ・商品エントリー数：175点
				TSUNAGU「～高知家の底チカラ～」の取組	■経済対策掲示板の運営 ・コロナ禍で売り上げの低迷や過剰在庫等の課題に直面している圏域の農水産物生産者、加工品製造事業者等の情報を、経済対策掲示板「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」に取りまとめて掲載し、継続した情報発信を実施 ・掲載事業者数：126事業者（14市町村） ■TV放送による事業者支援（8/30～計21回） ・テレビ高知放送番組「からふる」とタイアップし、取材を希望する事業者を募集し放映 応募数：31事業者 ・放映された事業者数：21事業者（6市町村） ■TSUNAGUマーケットin日曜市の開催（R3.5～R4.3月までの隔週で計21回開催） ・参加市町村：6市町 ・売上累計：2,892,220円 ■TSUNAGUマーケットinイオンモール高知の開催（①6/19～20、②8/14～15） ・参加事業者数：①28事業者（16市町村）、②17事業者（6市町） ・売上累計：①1,370千円、②787千円 ※2/20、3/12にも開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止 ■「昼も夜もテイクアウトフェスタ」の開催（1/22～23@高知市中央公園） ・圏域の農産物生産者・加工品製造事業者の出店による、加工品やテイクアウト商品を中心としたマーケットを開催 ・参加事業者：55事業者 ・来場者数：9,805人 ・売上累計：9,034千円
21-05	圏域事業者販売等支援事業	県内最大消費地である高知市において、地場産品の展示・販売の場「れんけいブース」を確保し、事業者の販売支援を行う。 併せて、地場産品と地域を関連付けた市町村PRイベント等を実施することで、地域の実店舗や道の駅等の販売拠点への周遊促進を図る。	地場産品の展示・販売	■れんけいブースでの販売促進・地域情報発信 ・とさのさとアグリコレット内の「れんけいブース」で、全圏域市町村の地場産品・特産品等を展示・販売 ・売上累計：59,940千円（106,896点） ■TSUNAGUマーケットinアグリコレットの開催（10/30～31） ・参加事業者数：17事業者（6市町） ・売上累計：1,291千円	
			販路拡大支援・マーケティング支援の実施	■販路拡大支援 ・れんけいブース又はイベントスペース等での販売促進・地域情報発信 ■マーケティング支援 ・商品のデザインや表示、コロナ対策等に関するアドバイスを実施 ・支援件数：73件（表示・パッケージ13、店頭販売11、試食販売2、販売方法15、量目・価格変更4、納品方法（流通）1、コロナ対策6、限定販売4、新商品17）	

区分	No.	連携事業名	事業概要	令和3年度取組内容	令和3年度取組詳細
ア (続き)	21-06	伝統産業推進事業	伝統産業の強みを生かしたブランド力・知名度の向上、販路拡大に向けた支援を行うことにより伝統産業の振興を図る。	伝統的製品のPR	<ul style="list-style-type: none"> ■パンフレット作成・配布（令和元年度作成分の内容を更新（新規事業者及び製品の追加等）） <ul style="list-style-type: none"> ・15産品59事業者・6卸業者等（18市町村）の産品の特徴・作業工程等を掲載 ・主要観光施設（34市町村）、高知龍馬空港、高知駅等で配布 ■ウェブサイト運営 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的産品情報、後継者情報、イベント情報を掲載 ・サイト閲覧数：109,054ビュー
	21-07	6次産業化推進事業	一次・二次・三次産業事業者の交流・マッチングの機会を創出・拡充することで、事業者間のコラボレーションによる新商品開発や販路開拓の促進を図る。	事業者の交流・マッチング機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ■農工商連携マッチングセミナー（11/22@高知市中央卸売市場） <ul style="list-style-type: none"> ・参加事業者数：40事業者
	21-08	大型船舶寄港誘致・誘客促進事業	高知新港への大型客船等の誘致を進めるとともに、連携市町村の新たな観光資源の掘り起こしや磨き上げにより受入態勢を整備し、高知新港に大型客船等が寄港する際に、連携市町村への無料バス運行や圏域市町村のPRイベント実施により、乗船客等の圏域での周遊促進や、連携市町村の知名度向上及びリピーターの増加、地場産品の販路拡大等による地域経済の活性化及び観光振興、高知新港の寄港地としての魅力向上を図る。	市町村PRイベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ■高知新港での市町村PRイベント <ul style="list-style-type: none"> ・客船寄港の機会を有効に活用し、圏域市町村の知名度向上や高知新港の魅力向上につながるようなPRイベントの実施を検討 ※新型コロナウイルスの影響により外国客船寄港自体がなく、シャトルバス運行による圏域周遊促進の実施はなし
	21-09	広域観光推進事業	携帯電話の位置情報ビッグデータを活用した観光客動態調査を基に、ターゲット等に応じた効果的な商品開発やプロモーションを行う。	造成商品のPR	<ul style="list-style-type: none"> ■旅行会社発行の紙・WEB媒体への造成商品の掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度までに造成した計12本の旅行商品を、旅行会社発行の紙・WEB媒体に掲載 ・累計掲載数：40本（内訳：もっとうち32、JTB2、オリオンツアー1、日本旅行4、KVCA1） ■ANA公式サイトへの造成商品の掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・造成した旅行商品の一部を、ANA公式サイト上のTravel&Lifeに、「高知の豊かな食と自然を楽しむ、心満ちるオトナ旅1～3日目」として掲載
	21-10	インバウンド観光推進事業	外国語対応可能な高知市中心商店街内の観光案内所を拠点に、専任スタッフによる観光案内及び連携市町村と連携した観光PR等を行い、外国人観光客の圏域内周遊促進を図る。	観光案内所の運営	<ul style="list-style-type: none"> ■案内所運営 <ul style="list-style-type: none"> ・実相談件数：4,884件（うち外国人240件） ■案内所ホームページの制作（12/1公開） <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所PRのためのホームページを制作、言語等の充実を段階的に図る
				デジタルコンテンツを活用した観光PR	<ul style="list-style-type: none"> ■4K動画を活用した観光PR <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川地域（土佐市・いの町・仁淀川町・佐川町・越知町・日高村）にて、4K動画を活用した観光PRを実施 ・YouTube、Instagram、GoogleディスプレイのWEB広告のほか、県内主要箇所にて放映、PR（①JR高知駅（9/6～10/31）、②こうち観光ナビ・ツーリストセンター（10/1～）、③高知龍馬空港（9/6～11/5）、④とさてらす（9/13～）） ■「楽吃購（ラーチーゴー）！日本オンラインライブイベント」の開催（2/12） <ul style="list-style-type: none"> ・「楽吃購！日本」を運営するジューリーメディアグループの創設者である吉田 皓一氏をMCに招き、台湾の一般消費者に対して、圏域市町村の観光コンテンツ（グルメ・自然・体験）の魅力を発信するオンラインライブイベントを開催 ・YouTube、Facebookでのライブ動画（告知・アーカイブ動画等含む）閲覧者延べ332,677人に圏域の魅力を発信
	21-11	人工知能（AI）を活用した外国人観光客への対応	人工知能（AI）を活用した外国人向け観光案内システムの活用により、圏域の観光資源や交通情報、飲食店等の情報を多言語で発信し、外国人観光客の満足度及び回遊性向上を図る。	tosatripの運用	<ul style="list-style-type: none"> ■tosatrip運用 <ul style="list-style-type: none"> ・観光情報の追加、FAQの更新等情報の充実 ・利用実績：5,200人（うち外国人136人）から29,745件の質問
	21-12	空き店舗等情報発信事業	空き店舗情報及び創業支援情報等を集約し、一元的に情報発信することで、圏域内の空き店舗の解消及び地域の活性化を図る。	ウェブサイトの運営	<ul style="list-style-type: none"> ■ウェブサイト「こうち創業Village」の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・掲載情報収集（随時） ・主な掲載内容： <ul style="list-style-type: none"> 空き店舗情報47件、支援制度 高知県及び16市町村29件、チャレンジショップ 10市町村10件、セミナー情報等 毎月3件程度 ・サイト閲覧数：57,392ビュー ■「創業者の声」ページの掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・高知市はりまや町での創業者にインタビューし、創業時の苦労や今後の展望等、生の声を配信

区分	No.	連携事業名	事業概要	令和3年度取組内容	令和3年度取組詳細
ア (続き)	21-13	二段階移住推進事業	大都市圏などの潜在的な移住希望者を対象に、高知市を拠点とした二段階移住をPRするとともに、一段階目となる高知市へのお試し移住補助や連携市町村を巡るレンタカー補助等を行う。 また、圏域市町村が連携した市町村情報の発信や移住に係るイベントの開催、二段階目の移住支援等を行うことで、圏域全体への移住・定住の促進を図る。	二段階移住制度のPR	<ul style="list-style-type: none"> ■既存の情報発信ツール（特設サイト・ハンドブック等）を活用したPR ■Instagramを活用したPR <ul style="list-style-type: none"> ・市町村・県と連携投稿し、日ごとに交代でそれぞれの魅力や移住に関する画像等を情報発信 ・実績：投稿数627件、フォロー数939人（22市町村・県） ■PR動画の制作 <ul style="list-style-type: none"> ・移住を恋愛に見立てた新PR動画「一段階告白/二段階告白」を制作し、PRを実施 ・動画閲覧数：48,948ビュー
				二段階目の移住促進	<ul style="list-style-type: none"> ■県内移住体験ツアーの開催（10/16～17） <ul style="list-style-type: none"> ・一段階目で高知市へ移住し、二段階目の移住に至っていない移住者を対象に、移住体験ツアーを開催（室戸市）
				二段階移住をテーマとしたイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ■二段階移住イベント「ハタカラ」の開催（3/5） <ul style="list-style-type: none"> ・幡多地域6市町村による、二段階移住制度及び各市町村のPRを目的としたオンラインイベントを開催 ・市町村PRパート：30人参加、相談パート：13人参加
				お試し滞在施設の運営	<ul style="list-style-type: none"> ■こうちらいふ体験滞在拠点「いっく」（高知市）の運営（令和3年度に3室から4室に変更） <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績：11組
				制度利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ■高知市の窓口における二段階移住新規相談実績：93件 ■補助金交付決定件数：47件（うち3件取消） <ul style="list-style-type: none"> ・5組が二段階移住（移住先：南国市、香美市、いの町、仁淀川町、北川村） ・対象者には「すてっぷ移住パスポート」を交付し、3市町村以上で移住相談を行っていただく ・パスポート発行部数：55部
イ 高次の都市機能の集積強化	21-14	新高知赤十字病院への支援	高知赤十字病院の津波長期浸水エリア外への移転を支援し、救急医療等の拠点機能を確保するとともに、南海トラフ地震発生時の圏域内の災害拠点病院としての機能を確保し、圏域全体が平時・災害時を問わず必要な医療サービスを受受できる環境の整備を図る。	高知赤十字病院を核とした連携	<ul style="list-style-type: none"> ■連携市町村への助産師の派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・実績：7回
				補助金の交付	<ul style="list-style-type: none"> ■補助金の交付 <ul style="list-style-type: none"> ・交付決定（令和元～令和10年度）
	21-15	高知みらい科学館機能の強化	次代を担う創造性豊かな人材を育成するため、圏域の中心拠点の一つである「高知みらい科学館」の機能を強化し、圏域の小中学校等を対象とした理科学習や出前教室、圏域住民を対象とした科学体験の機会の提供により、圏域の児童・生徒等の科学に対する興味・関心を高めるとともに、科学的な見方や考え方を養う。	科学館理科学習の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■高知みらい科学館における理科学習 <ul style="list-style-type: none"> ・小4及び中1を対象に、観察や実験、プラネタリウムを活用した理科学習を実施 ・利用実績：69校4,079人（高知市51校3,516人、圏域市町村18校563人）
				出前教室の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■市町村における出前教室の実施（遠方市町村） <ul style="list-style-type: none"> ・市町村の希望に応じ、出前によるミニプラネタリウム・サイエンスショー等を実施 ・利用実績：7校282人
				科学体験展示の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■市町村立図書館等における科学体験展示の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・科学館の展示物を市町村立図書館等に展示し、住民に科学体験機会を提供 ・展示物：19種類@23施設
ウ 圏域全体の生活関連機能サ	21-16	子育て支援事業（ファミリー・サポート・センターの広域連携）	連携市町村のファミリー・サポート・センター設置に向けた支援、市町村域を越えたサービスの提供及び援助会員養成講習会の開催等により、圏域全体の子育て支援サービスの質の向上を図る。	講習会の広域受講	<ul style="list-style-type: none"> ■広域受講の実施（12/2～4、2/16～18） <ul style="list-style-type: none"> ・参加市町村数：南国市、いの町
				ファミサポ設置・設置予定市町村との情報交換	<ul style="list-style-type: none"> ■ファミサポ設置・設置予定市町村からの相談に対応：2市町（須崎市、いの町）延べ3回
	21-17	新規就農者の確保	高知市と連携市町村合同での就農相談会を開催する。	就農相談会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ■就農相談会の開催（11/20@とさのさとアグリコレット） <ul style="list-style-type: none"> ・参加市町村数：15市町、うち4市町はオンライン参加 ・資料展示：21市町村 ・来場者数：103人 ・相談者数：24人（うち1人はオンライン相談）

区分	No.	連携事業名	事業概要	令和3年度取組内容	令和3年度取組詳細
ウ (続き)	21-18	体験型地域資源開発・活用事業	地域の資源（自然・文化・食や、事業者・住民の技術等）をコンテンツ化する方法を地域住民が習得・実践する機会（セミナーやワークショップ等）の提供及び体験型プログラム等の実施により、地域振興及び交流人口拡大を目指す。	体験型地域資源のコンテンツ化	■セミナー・ワークショップの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・津野町：講師招聘型ワークショップ（6/2） ・佐川町：パートナー向け説明会（5/13）、講師招聘型ワークショップ（5/27）、WEBサイト入力及び写真撮影サポート（5/29～6/13）、文章添削及び写真修正サポート（6/14～30） ・仁淀ブルー（※）：ワークショップ（5/9～9/2の間計12回） ・香美市：パートナー向け説明会（6/5）、講師招聘型ワークショップ（10/8）、文章講座（10/19）、WEBサイト入力及び写真撮影サポート・文章添削（10/20～11/27）、講師招聘型決起集会（12/15） ※仁淀川地域6市町村（土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村）による合同実施
				体験型イベントの実施	■体験型イベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・津野町：「つのつねづね＃2」8/1～9/26、16プログラム、86人参加、イベント実施エリア外からの参加割合53.4% ・佐川町：「わんさかわっしょい体験博2021」9/4～10/10、17プログラム、134人参加、イベント実施エリア外からの参加割合63.4% ・仁淀ブルー：「仁淀ブルー体験博2021」10/22～11/30、31プログラム、422人参加、イベント実施エリア外からの参加割合77.9% ・香美市：「かみめぐり 香美を巡る体験博2022」2/2～3/6、6プログラム、95人参加、イベント実施エリア外からの参加割合58.2%
	21-19	防災リーダー育成事業	高知市が開催する防災の各専門分野の講師による講座において、連携市町村にサテライト会場を設置し双方向による受講を可能とすることで、地域で防災活動に取り組む防災リーダー「災害に強い人」を育成し、圏域全体の防災力向上を図るとともに、高知市会場の講座修了者を対象に防災士資格取得を支援する。	防災人づくり塾の開催	■防災人づくり塾のサテライト開催（7/12～10/17の間計8回） <ul style="list-style-type: none"> ・高知市会場から県内3会場（宿毛市、越知町、四万十町）に映像と音声リアルタイムで配信 ・申込者数：207人（高知市166人、サテライト41人） ・修了者数：132人（高知市119人、サテライト13人） ■YouTubeでの動画配信 <ul style="list-style-type: none"> ・職員の学習用として、希望する職員に対して講義動画をYouTubeで配信 ・閲覧者数：119人
	21-20	水道事業広域実施（人材育成等）	水道事業の知識や技術の継承及び災害時対応について、高知市が行う水道事業実務研修の対象者を圏域全体に拡大することで効率的な人材育成に努める。 また、圏域市町村での情報の共有・統一化等により業務の効率化を図る。	職員研修の広域開催	■新任者研修（7/7） <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：11市町村17人 ■漏水調査（7/28） <ul style="list-style-type: none"> ・要望町職員のみを対象に試験的に実施 ・参加者数：1町3人 ■技術研修（12/3） <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：5市町村9人
	21-21	職員交流による連携強化と能力向上	連携市町村から高知市への派遣職員の受入及び交流派遣を行い、多様な行政案件を処理することで派遣職員の能力向上を図るとともに、高知市職員研修への参加機会の提供等により圏域市町村職員の能力向上を図る。 また、共通した行政課題について、圏域市町村間で情報交換を行うほか、相互連携が可能な事業については共同して事業を実施する。	職員研修の広域開催	■手話研修（入門研修：10/7、実技研修：10/14～12/16で10回） <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：3市町村4人（入門）、2市町村2人（実技） ■防災士養成研修（11/25、11/26） <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：8市町村34人（全員が防災士資格を取得） ■会計検査と補助金研修（11/19） <ul style="list-style-type: none"> ・圏域市町村のニーズを踏まえ、新たなテーマで研修を開催 ・参加者数：18市町村89人、うち82人がオンライン参加
				共通する行政課題について情報交換（随時）	■共通した行政課題について市町村担当者会議等を活用し、適宜情報交換